

にちにちこれこうじつ 日日是好日

中学部宿泊学習



群馬県立桐生特別支援学校
令和5年 6月 6日
校長日より No. 6



中学部と6月1日から一泊二日で、宿泊学習（桐生市野外活動センター）に行ってきました。朝は日差しが強く、「これは登山が大変かな。」と心配しました。出発の時間帯は、ちょうど小学部生が朝の運動で外に出ていて、何人かが見送りをしてくれました。Aさんは先輩たちに、「いってらっしゃい。楽しんできてね。」と何度も言葉をかけていました。いつも、やさしい言葉をかけてもらっているでしょう。こういう場面ではこう話すというのが自然にできていました。

暑さを心配しましたが、さすがに梅田まで行くと涼しく、清々しく快適な登山でした。二日目は雨天時プログラムに切り替えて充実した活動ができました。

新学期が始まって二ヶ月間。宿泊学習があるということが、生徒はもとよりお家の方々も気になっていたと思います。生徒は目標を立て、しおりを作成し、歌やダンスの練習を重ねてきました。係分担で司会や挨拶をする生徒は、台詞の練習もあります。野外活動センターに着いてからも、それを考えると緊張するという生徒もいました。私は二人の生徒と同室で宿泊したのですが、Bさんは司会がうまくできるかと部屋の中でもそわそわ。担当の先生とリハーサルをしてくると、やっとひと安心できたようで、笑顔で部屋に戻ってきました。現地で段取りを確認するのは何よりも安心です。Cさんは登山でも同じグループでしたので、朴の木山登山の感想をきくと、「楽しかった。学校のより楽だった。」との返事。練習で学校周辺の山々を登ってきた成果ですね。他の生徒もいつもと場所が違うこと、ゆっくりペースであったことで、気分的には楽だったようです。ただいつもと違って、お弁当や着替えの荷物が加わったので重たかったかもしれません。ボウリングやボッチャで大活躍という生徒がいました。飛び跳ねたり、嬉しそうにポーズをとったりする姿が見られました。これはうまくできたという経験や意識は、人に自信を与えますね。毎回高得点を出していました。楽しんでくるには、自分から主体的に参加しようとする意欲が必要です。「よし、やってやろう。」という気持ちがないと、楽しみは見出せませんね。

夕食や入浴を終え、部屋に戻ってから三人でゴロゴロしながら、普段は家で何をしているのか話をしました。Bさんは、「家ではYouTubeを見ています。あと、テレビ。」何を見ているのかきくと、『ケ○○とケ○○時々 ハ○○』今日は録画してきています。帰って見るのが楽しみです。」と言っていました。前回の校長日よりでも紹介したのですが、テレビを我慢して参加しているんだなと思いました。さらに、「お家の人は今頃どうしているかな。テレビ見てんじゃない。」ときくと、「自分のいない家の様子は想像が付きませんね。」という返事でした。Cさんは、家で妹とゲームをして楽しんでいることを教えてくれました。スイッチ、「○○○の刃」。次のカービィを楽しみにしていることも教えてくれました。彼は部屋で、しおりを片時も離さずよく見ています。自分がシーツ係であること、食堂での座る場所、明日の予定など、何度も確認し、そして「今日は、しおりと寝る。」と言って、枕元にしおりを置いて寝ていました。これだけ熟読してもらえれば、しおりも本望でしょう。二人は荷物の整理もばっちり、「次の日のマスクとハンカチは、こっちに入ってる。」と、どこに何が入っているのか、どの袋を開ければいいのか把握していました。お家の人とよく確認しながら準備してきたんだろうなと感心しました。

宿泊学習のめあては、「いろいろな活動の中で、友達と協力しよう。自分の係の仕事を頑張ろう。」でした。いつも和気あいあいと活動している中学部の生徒。もてる力が発揮できる役割をそれぞれ担い、友達と協力して生活してることができました。計画をたて、練習し、協力してちょっと難しい課題をみんなでクリアしていくのは楽しいものです。桐生市野外活動センターの先生も、「昨日よりたくなしくなったように見えますよ。」と生徒を褒めてくれました。大成功でした。なお、夕食後には、お忙しい中、この春に転退任された先生3名がみえ、一緒に活動していただきました。ありがとうございます。今週は小学部の宿泊学習があります。見送りに出て、「楽しんできてね。」と言葉をかけたいと思います。